
の

水守中也

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
の

【コード】
N0127K

【作者名】
水守中也

【あらすじ】
ノートが嫌いな少女の話

あたしはノートが嫌いである。

周りにも、ノートを取るのが苦手という子はいた。けれど、そういうのとは、ちょっと違う。ノート自体が嫌い、というか苦手なのだ。

別に紙自体に罪はない。破けようが、雨に濡れてしわしわになろう、インクが滲もうが、そういうことは問題でない。形に文句を言っているわけでもない。そもそも大きさはポケットサイズから、スケッチブックみたいのまで様々だ。

ちなみにスケッチブックは平気である。ノートという、言葉が駄目なのだ。

あたしはルーズリーフを使っているが、友達は普通に「勝浦さん、ノート買って」と、ノートという単語を考えもなしに使う。もっとも、この言い方なら、なんとかセーフである。

名称自体にも本来罪はないのだ。名前も同じ。あたしの名前、両親がどんな思いを込めて考えたかは知らないけれど、そんな変な名前ではないと思う。

ただこの二つがかみ合ったとき、どうしても、子供の頃の苦い思い出が、頭に浮かんでしまうのだ。

ちよっとしたからかいだったのは分かっている。けれど幼き日のあたしの心は傷つき、トラウマとなったのだ。

小学生の頃、クラスメイトの男子の言葉が蘇る。
「これ、ののののーとー！」

あたしの名前は、勝浦野々と言っ。

(後書き)

旅先で、とある地名を見て、思いついた話です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0127k/>

の

2011年1月15日20時40分発行